

811.5-Mo32ウ



1200800303112

115
1032
5④

小國の地名・人名の書き方(案)

6
7
8
9
40
1
2
3
4
5
6
7
8
9
5

始





昭和二十一年三月

外國の地名・人名の書き方(案)

文
部
省

811.5
No 32

外國の地名・人名の書き方に關する方針

- 一、外國の地名・人名（中華民國の地名・人名は除く）は、原則として片かなを用ひて書き、別表「外國の地名・人名を書くときに用ひるかな並びに符號の表」の範圍内で書く。
- 二、外國の地名・人名は、なるべくその國の稱へ方によつて書く。
- 三、外國の地名・人名は、慣用の固定したものは、それに従つて書く。
- 四、外國の地名・人名は、發音しやすいやうに書く。



本省で編修または作成する各種の教科書・文書などの國語の表記法を統一し、その基準を示すために、

- 一、送りがなのつけ方（案）
 - 二、くぎり符號の使ひ方（句讀法）（案）
 - 三、くりかへし符號の使ひ方（をどり字法）（案）
 - 四、外國の地名・人名の書き方（案）
- の四篇を印刷に附した。この案はその一つである。
諸官廳をはじめ一般社會の用字上の參考ともなれば幸である。

（文部省教科書局調査課國語調査室）

發行所寄贈本

~~1012~~
~~194~~

ク		ビ	ビ	ジ	ギ	リ	ミ	ヒ	ニ
ク		ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ
	ウ								
	ウ								
	ウ								
	ウ	イ							
シ	ウ	イ							
シ	ウ	イ							
	ウ								
	ウ								
	ウ								
	ウ								
	ウ								
	ウ								
	ウ								
	ウ								
	ウ								

ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア

外國の地名・人名を書くときに用ひるかな並びに符號の表

チ	シ	キ	バ	バ	ダ	ザ	ガ		ン
チ	シ	キ							

ツ (促音符號)

1 (長音符號)

備 考

外國の地名・人名の稱へ方・書き方を整理統一するには、稱へ方は、原則としてその國の稱へ方によるのがよいことは言ふまでもない。しかし、すでに慣用の久しいものは、これを認めて行かなければならない。ただ、それをどの程度まで認めるかといふことに考慮の餘地がある。「イギリス」「ギリシア」「デンマーク」「レントゲン」などのときは、原語、原音を離れたものではあるが、すでに広く用ひ慣れてゐるので、この稱へ方を認める。「レントゲン」のときは、同時に原語、原音による「レンチェン」といふ稱へ方が一部に行はれてゐるが、慣用の廣い「レントゲン」の方を取る。

原音に近く書き表はすとしても、それに用ひるかなは、一般の國民に發音しやすいものにとどめる。また、「イ」「エ」「オ」、「ジ」「ズ」と同じ音の「キ」「エ」「ヲ」、「チ」「ツ」などのかなは用ひることをやめ、精密に書き表はすときには、「ウイ」「ウエ」「ウオ」、「デイ」「ドゥ」とする。「ヴ」は、從來かなり広く用ひてゐるので、必要に応じて採用する。

撥音を書き表はすとき、「オリムボス」「ゼムメリング」などのごとく、「ム」を用ひる書き方も行はれてゐるが、この案では、「ム」は用ひないで、「ン」を用ひる。

長音を書き表はすとき、従来「ヨーロッパ」「ヨロッパ」「ソシユール」「ソシユウル」などが行はれてゐるが、最も普通に廣く行はれてゐる長音符號「ー」を採用することとする。したがつて、「ガレリウス」「コメニウス」などと書けば、「リウ」「ニウ」は、分けて發音する。

促音を書き表はすときは、慣用に従つて右側下に「ッ」を書くこととし、「ツ」と區別する。この書き方は、漢字平がな交り文における書き方である。

この書き方によつた外國の地名・人名の例 (アイウエオ順)

アイゼナハ	Eisenach
アインスタイン	Einstein
アウグスチヌス	Augustinus
アクチウム	Actium
アグリゲンツム	Argentum
アジア	Asia
アリスチデス	Aristides
アリストテレス	Aristoteles
アルゼンチン	Argentine
アルヘンティーナ	Argentina

「アイゼナッハ」とは書かない。

ドイツ語のstのsは、「ス」と書く。

ギリシア語・ラテン語などのti tuは「チ」「ツ」と書く。

語末の(aは「ア」と書き、(yaは「ヤ」と書く。ギリシア語のeiは、「エイ」と書かないで、「イ」と書く。ギリシア語・ラテン語などの長音は書き表はさない。したがつて、「アリストテレス」などとは書かない。慣用による。

アレクサンドロフスク
 アンチオキア
 イエス
 イエーツ
 イエーリング
 イタリア
 イブセン
 ヴァチカン
 ヴァクトリア
 ウィクトリア
 ウィッテンベルク
 ウイルソン
 ウィンデルバント

Alexandrovska
 Antiochia
 Jesus
 Yeats
 Jhering
 Italia
 Ibsen
 Vatican
 Victoria
 Wycliffe
 Wittenberg
 Wilson
 Windelband

スラヴ語などの *vsk, vski* などの *v* は、「フ」と書く。

「イタリヤ」とは書かない。

ドイツ語の語末の *berg, burg* の *se* 「ン」と書く。

ドイツ語の語末の *d* は、「ト」と書く。

ヴェルサイユ
 ウェルズ
 ウェールズ
 ウェルフリン
 ヴォルテール
 ヴォルムス
 ウェルテンベルク
 ウルグッイ
 ウルフ
 ヴント
 エウクリデス
 エクアドル
 エジソン

Versailles
 Wells
 Wales
 Wöflin
 Voltaire
 Worms
 Württemberg
 Uruguay
 Wulf
 Wundt
 Eukleides
 Ecuador
 Edison

ドイツ語の語頭の *w* は、「ワ」「ウイ」「ウ」
 「ウエ」などのごとく書く。

ギリシア語の *ei* は、「エイ」と書かないで、「イ」と書く。

エチオピア
 エニセイ
 オーストラリア
 オリシポス
 オロヤ
 カイザーリング
 カヴェトニャック
 カトマンドゥー
 カーライル
 ガレリウス
 ギリシマ
 キンバリー
 グリルバルツァー

Ethiopia
 Yenisei
 Australia
 Olympos
 Oroya
 Kayserling
 Cavagnac
 Katmandu
 Carlyle
 Galerius
 Greece
 Kimberley
 Grillparzer

「オリムポス」とは書かない。
 語末の (y)a は「ヤ」と書く。
 ドイツ語の語末の ing の g は「メ」と書く。

ギリシア語・ラテン語などの (i)us は「ウス」と書いて、長音符號を用ひない。

英語の ley は「リー」と書く。
 ドイツ語の語末の er は「アー」と書く。

グレイ
 グレイ
 クッケルナク
 ケーザル
 ケーニヒスベルク
 ケニヤ
 ケンブリッジ
 コメニウス
 ゴールズワージ
 ゴンサルボ
 サッカレ
 ザラウストラ

Gray
 Grey
 Quackernack
 Caesar
 Konigsberg
 Kenya
 Cambridge
 Comenius
 Galsworthy
 Gonsalvo
 Thackeray
 Zarathustra

英語の ray, rey は「ラー」と書く。

ギリシア語・ラテン語などの長音は書き表はさな
 いが、「ケーザル」「ローマ」は、慣用により長音
 に書く。
 ドイツ語の語末の berg, burg の g は「ク」と書
 く。

イスパニア語などの v には「バ」「ビ」「ブ」「ヴ」
 「ボ」を用ひる。
 英語の ray, rey は「ラー」と書く。

サルジニア	Sardinia
シエイエース	Sieyès
シエークスピア	Shakespeare
シエラ・ネバダ山脈	Sierra Nevada
シェリー	Shelley
ジェンナー	Jenner
シャルロア	Charlevoix
シュニッツラー	Schnitzler
ジュネーヴ	Genève
シュー	Shaw
ショーペンハウアー	Schopenhauer
スタンリー	Stanley
ストラウス	Strauss

「ポ」を用ひる。
 イスパニア語などのvには、「ン」「ム」「メ」「ン」「ム」「ン」「ム」
 フランス語のoiは、「オア」と書く。
 ドイツ語の語末のerは、「アー」と書く。
 英語のleyは、「リー」と書く。
 ドイツ語のstのsは、「ス」と書く。

セルバンテス	Cervantes
ゼンメリング	Simmering
ソアソン	Soissons
ソクラテス	Sokrates
ダーウイン	Darwin
タキツス	Tacitus
ダンチヒ	Danzig
タンネンベルク	Tannenberg
チェンパレン	Chamberlain
チャンネル諸島	Channel Islands
チュードル	Tudor
チリ	Chile
ツァポリア	Zapolya

「ボ」を用ひる。
 「ゼムメリング」とは書かない。
 フランス語のoiは、「オア」と書く。
 「ソークラテース」などは書かない。
 nm, mn などには、慣用により、「ン」を加へる
 ことがある。

ツェッペリン
 ツォルンドルフ
 ツルゲニエフ
 テイケンズ
 テイチアーノ
 テオドゥル越
 デューイ
 デュプレックス
 トゥーニス
 ドルトムント
 ナハチガル
 ニカラグワ
 ニューヨーク

Zeppelin
 Zorndorf
 Turgeneff
 Dickens
 Tiziano
 Théodule Pass
 Dewey
 Duplex
 Tunis
 Dortmund
 Nachtigal
 Nicaragua
 New York

tu, tu, di, du などは、精密には「ティ」「トゥ」「チ」
 と書き、ch, zi などは、「チ」と書
 く。

ドイツ語の語末の d は、「ト」と書く。
 「ナハチガル」とは書かない。

ハックスリー
 バセドウ
 ハーディー
 バッハ
 パラグワイ
 ハンブルク
 ビザンチウム
 ビュッフォン
 ヒューム
 ファーブル
 ファン・アイク
 フィウメ
 フィリピン

Huxley
 Basedow
 Hardy
 Bach
 Paraguay
 Hamburg
 Byzantium
 Buffon
 Hume
 Fabre
 Van Eyck
 Fiume
 Philippine

「ホルバハ」「ライヘンバハ」は、「バッハ」と書か
 ない。

フィルヒョー
 フェービアン
 フェーネン
 プラトン
 ペテロ
 ペートル大帝
 ヘラクリトス
 ヘルダー
 ボアンカレ
 ホイートストン
 ホイットニー
 ホイットマン
 ホーエンツォレルン

Virchow
 Fabian
 Finen
 Platon
 Petros
 Petr
 Herakleitos
 Herder
 Poincaré
 Wheatstone
 Whitney
 Whitman
 Hohenzollern

一六

「プラトーン」などとは書かなす。

ドイツ語の語末の er は、「アー」と書く。

フランス語の oi は、「オー」と書く。

英語の whea, whi などは、「ホイ」の如く書く。

ホラチウス
 ホルバハ
 ボリビア
 マホメット
 マルセーユ
 マレー
 ムリリョ
 モスクワ
 ライヘンバハ
 ラヴォアジエー
 ユスチニアヌス
 ルクセンブルク
 ルーズベルト

Horatius
 Holbach
 Bolivia
 Mahomet
 Marseille
 Murray
 Murillo
 Moskva
 Reichenbach
 Lavoisier
 Justinianus
 Luxemburg
 Roosevelt

「ホルバハ」とは書かなす。

イスパニア語などの v には、「ン」「ビ」「ム」「ク」
「ボ」を用ひる。

英語の ray, rey は「ラー」と書く。

「ライヘンバハ」とは書かなす。

一七



811.5
Mo 32

この案の作成にあつては、關係諸官廳・諸團體及び學界 特に市河三喜・今井
登志喜・内田寛一・龜井高孝・辻村太郎・松本信廣・村川鑿園・山中謙二(アイウ
エオ順)の諸氏の御協力をわづらはした。

ル ター
ル ノ アール
ロ シ ア
ロ ズ
ロ ー マ
ロ マ ノ フ ス キー
ワ イ マ ール
ワ ー ズ ワ ース

Luther
Rencir
Russia
Lodz
Roma
Romanovski
Weimar
Wordsworth

ドイツ語の語末のerは、「アー」と書く。

慣用により「ローマ」と長音に書く。

811.5
Mo32

終

811.5

M.32

②